



2025年3月28日

各位

会社名 株式会社ジーネクスト  
代表者名 代表取締役 村田 実  
(コード番号：4179 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 酒井 亜子  
(TEL. 03-5962-5170)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年6月21日に公表した2025年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期通期業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 610～670	百万円 △140～△100	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表 (B)	673	△169	△185	△214	△31.28
増減額 (B— A)	3～63	△69～△29	—	—	—
増減率 (%)	4.5%～10.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	610	△148	△150	△149	△35.57

#### 2. 修正の理由

2025年3月期においては、売上高については、既存事業の成長率や改善、新規案件・マーケット開拓における競合・市場環境等を考慮し、より有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、また、各段階損益についても、オペレーションの効率化に伴う業務委託先の整理や不採算案件の解消、事業効率化の推進などのコスト削減施策をより機動的に進める観点から、レンジ方式による通期業績予想開示を採用しておりました。

そのような中で、売上高については、2度にわたる臨時株主総会開催や継続企業の前提に関する注記が付された影響による当社の与信起因による案件の期ずれ等があったものの、クラウド型サービスのMRR<sup>(※1)</sup>の伸長、「SRM Design Lab」<sup>(※2)</sup>事業の成長の結果、業績予想より+4.5%～+10.3%増加する見通しです。

しかしながら、新規事業及びマーケット開拓のための投資を加速させた背景から、生成AIへの投資による研究開発費の増加、早期の収益構造改善を目指した外部専門家への支払報酬料等の増加によって、営業利益の見通しについては△169百万円に修正しております。一方で、コストマネジメント

施策の遂行により、通信費に関しては円安、案件数増加といった増加要因があったものの、当初予想より約2百万円の削減、業務委託・外注費については当初予定より90百万円の削減にて着地予定です。

今回新たに、合理的な予想が可能となったという判断から、経常利益及び当期純利益の業績予想を公表しております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上

(※1) MRR

Monthly Recurring Revenue の略で、毎月繰り返し得られる収益であり、月次経常収益のこと。ここでは、月次のライセンス料の月額合計額を指す。

(※2) SRM Design Lab

当社HPで2023年4月3日リリースの「ジーネクスト、ステークホルダーと顧客価値共創を目指す取り組み 「SRM Design Lab」を開設」より抜粋